



指揮  
マティアス・バーメルト

Matthias Bamert  
Chief Conductor

©Yasuo Fujii

# 札幌交響楽団 2020

2020年2月7日 金

19:00開演 \ 18:30開場

サントリーホール

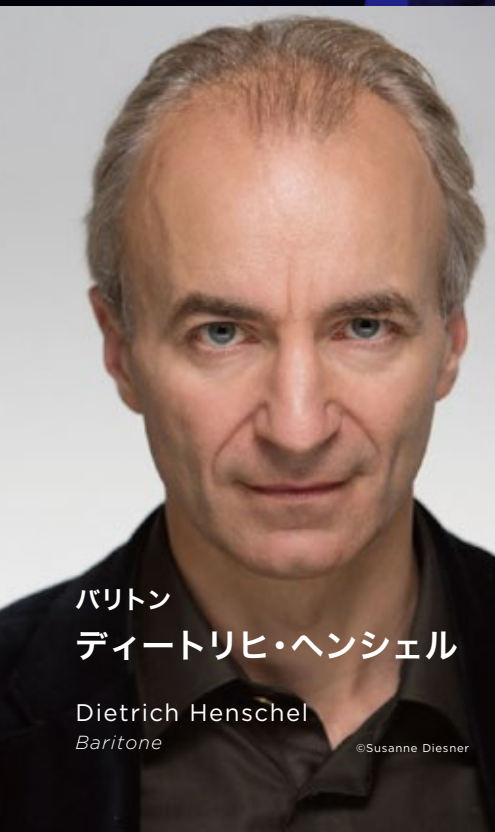
Friday, February 7, 2020 at Suntory Hall, Tokyo

シューベルト (ウェーベルン編): ドイツ舞曲 D820  
Schubert (Arr. Webern): 6 German Dances D820

マーラー: 亡き子をしのぶ歌  
Mahler: Songs on the Death of Infants

ベートーヴェン: 交響曲第7番 イ長調 op. 92  
Beethoven: Symphony No.7 in A major op. 92

Sapporo Symphony Orchestra in Tokyo



バリトン  
ディートリヒ・ヘンシェル

Dietrich Henschel  
Baritone

©Susanne Diesner

# 東京公演

チケット料金 全席指定・消費税込

S 6,000円 A 5,000円

B 4,000円 C 3,000円

※シルバー券 65歳以上S席、A席から1,000円引き(取扱いはいかじもと・イープラスのみ)

チケット発売 10月9日(水)発売開始

かじもと・イープラス ☎ 0570-06-9960 <http://kajimotoeplus.com/>

チケットぴあ ☎ 0570-02-9999 (Pコード 165-213)

e+(イープラス) <http://eplus.jp>

ローソンチケット ☎ 0570-000-407 (Lコード 33957)

サントリーホールチケットセンター ☎ 0570-55-0017

都響ガイド ☎ 0570-056-057 <https://www.tmsso.or.jp>

主催 公益財団法人 札幌交響楽団

マネジメント KAJIMOTO

協賛 ホクレン

協力 JAPAN AIRLINES

公益財団法人 東京都交響楽団  
パシフィック・コンサート・マネジメント

助成 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



お問い合わせ かじもと・イープラス ☎ 0570-06-9960  
札幌交響楽団 ☎ 011-520-1771 [www.sso.or.jp](http://www.sso.or.jp)





©Yasuo Fujii

2018年に首席指揮者に就任したマティアス・バーメルトが迎える、札幌との2度目の東京公演です。  
今回はバーメルトにとって思い入れの強い曲目とソリストを揃えた、こだわりのプログラムとなっています。

シュベールの「ドイツ舞曲D820」はピアノ独奏のための1824年の曲ですが、  
1931年のウェーベルンによるオーケストラ編曲によって注目を集めるようになりました。

「作曲家と作曲家の出会い」を札幌での2シーズン目に  
テーマとして掲げていたバーメルトは、シュベールとウェーベルンとの  
時を超えた融合による傑作を演奏会の導入にすえました。

それは演奏会後半の、シュベールが尊敬するベートーヴェンの  
生誕250年記念へとつながります。

この2曲の間には、マーラーの「亡き子をしのぶ歌」が入り、バーメルトの  
強い希望により名バリトンのディートリヒ・ヘンシェルが札幌と初共演を果たします。

札幌サウンドと歩みはじめて2年、  
バーメルトならではの精緻な音楽にご期待ください！



## マティアス・バーメルト

首席指揮者

Matthias Bamert, Chief Conductor

母国スイスとダルムシュタット、パリで音楽を学び、作曲をピエール・ブーレーズと  
カールハインツ・シュトックハウゼンに師事した。ザルツブルク・モーツァルトウム  
管弦楽団の首席オーボエ奏者を務めた後で、指揮者に転向。指揮者としての  
キャリアはアメリカでジョージ・セルに師事することから始まり、レオポルド・  
ストコフスキーの助手を、さらにロリン・マゼールが音楽監督のクリーヴランド  
管弦楽団で正指揮者を務めた。

これまでにバーゼル響、ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズ、西オーストラリア  
響、マレーシア・フィルの音楽監督等を歴任。また、ロイヤル・スコティッシュ・  
ナショナル管、ニュージーランド響、韓国テジョン・フィルの首席客演指揮者、  
ロンドンのロイヤル・フィルの副客演指揮者、グラスゴーの現代音楽フェスティ  
バル「ムジカ・ノヴァ」、ルツェルン音楽祭の監督を務めた。

英国でフィルハーモニア管、BBC響、ロンドン・フィル、バーミンガム市交響楽団、  
BBCフィルをしばしば演奏会や録音のために指揮、BBCプロムスも頻繁に  
出演。そのほかクリーヴランド管、ピッツバーグ響、ロサンジェルス・フィル、パリ  
管、モンリオール響、レニングラード・フィル、シドニー響、N響など世界各地の  
オーケストラに登場している。CDの録音もこれまでに80以上あり、それらは数々  
の国際的な賞を受賞している。

2018年4月札幌交響楽団首席指揮者に就任。

## ディートリヒ・ヘンシェル

バリトン

Dietrich Henschel, Baritone

ミュンヘン・ビエンナーレでデビュー後、リヨン歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラで国際的  
キャリアをスタート。以降、ミュンヘン、アムステルダム、ブリュッセル、リスボン、マドリッド、  
ジュネーヴ、パリなどの歌劇場、ザルツブルク、エクサン・プロヴァンス、フレンツェンなど  
の音楽祭に出演多数。アーノンクール、ガーディナー、ヘレヴェツェ、ヤーコプス、  
エッセンバッハ、リリング、クリスティ、バレンコ、ナガノ、メータ、ドホナーニ、アルブレヒト、  
ラトル、ティーレマンなどと共演。

リート歌手としての評価も極めて高く、アーヴィン・ゲージ、フリッツ・シュヴァー  
ンハマー、ヘルムート・ドイチュ、岡原慎也らのピアニストと共演。近年は、名歌曲の  
豊かな文学的内容を視角化させようとのプロジェクトに取り組み、2010年シュベール  
『白鳥の歌』舞台版にモネ劇場、アンデア・ウィーン劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー  
などで出演。2013年、映像プロジェクト『IRRSAL (狂気の禁じられた祈者  
たち)』をトーン・ハレ・デュッセルドルフで初演、メーリケ  
の詩によるヴォルフ歌曲の濃密な音楽世界が話題  
を呼んでいる。最近の映像プロジェクト『WUNDER-  
HORN (不思議な角笛)』は、マーラー「子供の不思議  
な角笛」全曲コンサートでデューレン、BBC響、モネ  
劇場と協同で進め、2016年に初演された。

公式ホームページ <http://www.dietrichhenschel.de>



©Susanne Diesner

## 札幌交響楽団 Sapporo Symphony Orchestra

1961年に発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれている。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は  
雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られている。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、  
岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、円光寺雅彦、高関健、ラドミル・エリシュカなどが務めた。現在、首席指揮者のマティアス・  
バーメルト、名誉音楽監督の尾高忠明、友情客演指揮者の  
の広上淳一、指揮者の松本宗利音を擁する。年に約120  
回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域  
活動に参加、年に約50回の小編成での教育福祉活動を  
道内各地で展開している。海外公演はこれまでに、アメリカ、  
英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問し、  
各地で好評を博した。

公式ホームページ [www.sso.or.jp](http://www.sso.or.jp)



©Yasuo Fujii



SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

●やむをえぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしません。あらかじめご了承ください。●未就学児の入場はご遠慮いただいております。

毎日の食卓へ笑顔をお届けする ホクレンは、北海道の美味しい農畜産物を全国にお届けする、JAの連合会です。

**ホクレン**  
<http://www.hokuren.or.jp/>